



医師とAIは協力できるのか？

最近、スタンフォード大学生物医学研究センター、スタンフォード大学医学部、ハーバード医学院などが共同で発表した論文が、米国の権威ある医学専門誌「JAMA (Journal of the American Medical Association)」に発表され、注目を集めています。この研究は、ChatGPTなどのAIが医師の診断にどのような影響を与えるかを探求したもので、ChatGPTが病気を診断する能力が人間の医師を上回る結果が示されたことで、医療関係者の間に衝撃が走っています。

この研究では米国の主要病院に勤務する医師50人をランダムに抽出して調査を行いました。これには医師免許を取得して間もない研修医から経験豊富な主治医まで、さまざまなレベルの医師が含まれています。

過去の様々な症例データを見せて、それを基に病名の診断をさせたところ、診断の際にChatGPTの支援を受けた医師の正答率が76%であったのに対し、ChatGPTを利用しなかった医師では同74%とほとんど差が見られませんでした。

一方で全く同じ症例データをまるごとChatGPTに入力して診断させたところ、その正答率は90%に達しました。

ChatGPTの診断能力がこれほど高いにもかかわらず、ChatGPTの利用した医師の正答率が利用していない医師の正答率とあまり変わらない理由として考えられるのは、人間医師の直感やバイアスが邪魔をして、自分の意見と異なるAIの所見を受入れなかったことが挙げられます。

それでは今後は医師が不要になるのかと言えば、そうではありません。ChatGPTのようなAIは人間のような身体を持たないため、外科手術などは不可能です。AIにできるのは病気の診断に限定されます。また、AIは感情や共感に基づく判断ができないため、患者との信頼関係を構築するのは難しいでしょう。さらに倫理的なリスクとして、AIに診断を完全に任せることで発生する責任の問題もあります。

今回の研究は、AIが単独で高精度な診断を行える可能性を示す一方で、人間医師との協力には課題があることを浮き彫りにしました。今後、AIをどのように活用し、医療現場での効率化と信頼性を両立させるかが鍵となります。人間医師の共感能力を活かしつつ、AIを支援ツールとして効果的に運用できることが理想的であると言えるでしょう。

薬膳茶のすすめ

薬膳茶とは中国の伝統医学に基づいて、食物や薬剤をお茶のように淹れたり煎じたりして作られ、病気を治したり健康を保つために使われる薬茶です。

よく似たものに漢方薬(煎じ薬)がありますが、こちらは飲まなければいけない量が多い、煎じるのが面倒、といったやや敷居の高いところがあります。このような漢方薬に対して、手軽に飲めるのが薬膳茶です。薬の味が強くないため、長期にわたって飲むことができ、刺激が少なく副作用がないことから軽度の慢性的な症状の改善によいとされています。

今回は秋冬の乾燥を和らげる薬膳茶をご紹介します。

秋冬の乾燥を和らげる薬膳茶<桂花ウーロン茶>

- ・ウーロン茶(鉄観音など) 3g
- ・キンモクセイ(桂花茶) 2g

ウーロン茶とキンモクセイをそれぞれ別の急須などで淹れてブレンドする。
あるいは両方を一つの急須などに入れて抽出する。

キンモクセイには痰を切る作用や胃炎の解消を促進する効果があります。ウーロン茶には体を潤し、体液の分泌を促進し、体にこもった熱を取り除く作用があります。キンモクセイはネットショップや中国茶専門店などで入手できますが、最近ではウーロン茶とブレンドされたものも販売されています。



編集後記

今年も早いもので残すところあと1カ月となりました。毎年になるとあっという間に1年が過ぎたと感じます。一説によると、これは年齢が上がるにつれて1年が人生に占める割合が低くなるためだそうです。5歳の子供の1年は人生の5分の1ですが、20歳の人にとっての1年は人生の20分の1です。

また、子供は初めての体験が多く、それが強く意識に残るため、時間が長く感じられるという理由もあるようです。大人であっても新しい出会いや発見があると時間の流れを早いと感じないようです。時間の流れを変えたい場合は新しいことにチャレンジするのもよいですね。

大人であっても新しい出会いや発見があると時間の流れを早いと感じないようです。時間の流れを変えたい場合は新しいことにチャレンジするのもよいですね。

MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒136-0071

東京都江東区亀戸1-38-6-1501

TEL 03-5812-4560

FAX 03-6284-2257

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/



MINTECH
水素発生器
MT-A100

